



樹木のふしぎ／イロハモミジ

みどり探訪／永福小学校のビオトープ

緑の歳時記／ウラジロチチコグサ

特集／「落ち葉感謝祭2016」開催案内

みどりの窓／屋敷林や農地を守ろうほか

公園育て組・花咲かせ隊募集ほか

園芸ワンポイント／アボカド 種から育ててみよう

樹木のふしぎ

イロハモミジ

秋といえば紅葉ですね。その代表選手であるイロハモミジの不思議に迫ってみましょう。

◆なぜイロハモミジっていうの？

手のひら状に裂けた葉の指のような部分を「いろはにほへと…」と、数えたことから名前が付けられたと言われています。別名「手習いモミジ」とも呼ばれています。

◆花は咲くの？

春、葉が開くと同時に径4～5ミリの暗赤色の花が、柄の先に10～20個ぶら下がって咲きます。

◆実はなるの？

夏にはプロペラ形の羽が対になった果実をつけます。秋に赤く熟すと枝から離れ、くるくると回って風で運ばれます。このような果実は翼果(よくか)と呼ばれます。

◆なぜ紅葉するの？

晩秋になり気温が低くなると、葉の根元に仕切り(離層)ができて、枝から葉に水や養分が流れなくなります。すると、緑色の色素・葉緑素(クロロフィル)が減少、一方、光合成で作られたデンプンは枝に回らず蓄積されて糖分に分解、この糖分から赤色の色素「アントシアン」が作られ、葉が赤くなります。

◆食べられるの？

関西では、衣に味を付けて「天ぷら」にしてくださいそうです。秋の風情を添える絶好の一品でしょうね。

◆区内の紅葉の名所は？

大田黒公園(荻窪3丁目)、馬橋公園(高円寺北4丁目)、和田堀公園(大宮2丁目)などです。特に大田黒公園では毎年見ごろの11月末から約10日間、紅葉のライトアップが行われます。水面に映る紅葉はどこまでも深く深く、昼間の紅葉とはまるで違って、とても神秘的で美しいです。新たな目を向けて楽しんでみませんか。



イロハモミジの実



イロハモミジの花

みどり探訪

永福小学校のビオトープ

ビオトープのひみつ～学校全体がビオトープ!…そんなユニークなタイトルを掲げたパンフレットが今年7月、永福小学校で全校児童に配られました。タイトルが示す意味は、ビオトープを中心に、学校全体が多様なみどりにおおわれ、生き物の通り道でつながっているからです。

作成したのは、ビオトープが作られて以来その手入れや維持を支援しているボランティアグループ・永福ネイ

チャー倶楽部です。学校支援本部活動の一環として、ビオトープまつりや自然素材でのリースづくり、生き物観察会など、ビオトープを通して子どもたちに対する自然学習のお手伝いをしています。

ビオトープには池をはじめ田んぼ、水路、広場などがあります。アサザ、カンガレイ、大賀ハスなど希少な水生植物が生い茂り、メダカやカエルなどさまざまな生き物が棲んでいます。昨年度全国ビオトープコンクールでは日本生態系協会賞を受賞しました。

隣接する学校園では多様な野菜や果樹も栽培されています。そして、学校の敷地はつる性植物が絡んだフェンス、ヤマモモなど多種の樹木、そして花壇で囲まれており、校庭ではケヤキやイチョウ並木が見られます。さらにヤブランの壁面緑化、緑のカーテン、屋上には芝生と、まさにみどり豊かな小学校といえるでしょう。自然の中で育つ子どもたちをもっと応援したいですね。



多くの生き物が棲むビオトープ



多彩な果実・野菜が実る学校園



生き物を観察する子どもたち



自然素材でリースづくり



ボランティアが草刈りを



緑の歳時記

区内でよく見かける帰化植物

ウラジロチチコグサ (裏白父子草)

キク科/南アメリカ原産の1～2年草

茎は基部から横に分岐して高さ10～30cmになり大きな根生葉※が目立ちます。また短い匍匐枝※で分株ができます。葉の裏面は白い綿毛でおおわれ、チチコグサ(在来種)よりさらに白いのでこの名がつけました。

花期は夏で、ハハコグサ属の帰化植物の中では最も遅くまで花を

つけています。茎の上部に赤みをおびた花を穂状につけ、11月頃には実になり冠毛※が出始めます。

昭和40年代後半に知られるようになり、九州～東北まで急速に分布を広げました。区内でも道ばた、空き地、芝地などでよく見ることができます。



- ※ 根生葉: 茎の根もとにつく葉
- ※ 匍匐枝: 地面を這う枝
- ※ 冠毛: 種をとばすための綿毛

11月15日~12月14日は

落ち葉感謝月間です

参加しよう!

~1万人の落ち葉掃き~



2016年 **11月26日** [土]

[阿佐谷会場] 場所: 中杉通り(午前9時から1時間程度)
※雨天中止 内容: 落ち葉掃き・落ち葉のリサイクル作業等

[其他会場] 場所: 井草森公園・大田黒公園・蚕系の森公園・
杉並児童交通公園・天沼弁天池公園(午前9時から)
柏の宮公園・塚山公園・馬橋公園(午前10時から)
内容: 落ち葉掃き(1時間程度)

[井草森会場] 場所: 井草森公園(午前10時から午後3時)
内容: 落ち葉プール、どんぐりを使った工作など
※詳しくは広報すぎなみ11月11日号をご覧ください

問合せ: 落ち葉感謝祭実行委員会
杉並区みどり公園課北公園緑地事務所 03-3396-5261



屋敷林や農地を守ろう!

屋敷林とは

屋敷のまわりに植えられた樹林で、強風から家屋を守り、枝は薪として、葉は腐葉土として畑にすき込むなど、かつては生活に欠かすことのできないものでした。

都市の屋敷林と農地の機能

生活様式が変わった現在でも、夏の強い日差しを遮り、温度の上昇を和らげることや二酸化炭素の吸収等の様々な機能があります。また、農地については食料生産のほか、災害時のオープンスペースや農業体験の場の提供等、都市における貴重な役割を果たしています。



屋敷林や農地を守るために

平成26年度に「杉並区緑地保全方針」を策定し、区内の10地区を杉並らしいみどりの保全地区に選定しました。そして、平成28年度から荻窪一丁目、成田西三丁目のモデル地区で屋敷林・農地の保全のための取り組みを実施しています。

今年度はモデル地区で屋敷林・農地の保全を支援するボランティア「みどりの支援隊」が発足しました。また、ボランティアと所有者の方の協力を得て、温度測定や屋敷林の解説等を行い、屋敷林・農地の効果をPRするイベントを実施しました。

杉並区みどりの基金キャンペーン

杉並区みどりの基金は屋敷林などのみどりを保全する事業に活用されています。寄附のご協力をいただいた方に、花苗を差し上げます（マイバック持参、なくなり次第終了）。

日時／12月12日（月）午後1時～2時
場所／区役所中杉通り側入り口前



募集

すぎなみ公園育て組 花咲かせ隊

お気に入りの公園でボランティア活動してみよう!

すぎなみ公園育て組

お気に入りの公園や緑地を大切に守り育てていくことで、地域に愛され親しまれる公園や緑地にしていきたいと思います。

参加できる団体

次のすべてを満たす団体

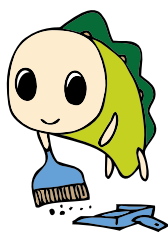
- ・区民による団体、及び区内で活動している団体
- ・構成員が5人以上の団体
- ・継続して月1回以上活動できる団体

活動内容

活動を希望する区立公園で、清掃活動や既存の低木の手入れ、除草や公園施設の確認などを行います（活動内容は選択できます）。事前に区と協定を結び、活動場所や活動内容を取り決めます。

区からの支援

- ・清掃用具、園芸用具、ベストや腕章などを支給・貸与
- ・ボランティア保険加入



花咲かせ隊

手作りの花壇で地域の公園を明るく、楽しく、みんなが安心して利用できる場所にしましょう。

参加できる団体

次のすべてを満たす団体

- ・区民による団体、及び区内で活動している団体
- ・構成員が5人以上の団体
- ・継続して活動できる団体

活動内容

事前に区と協定を結び、活動を希望する区立公園で、4㎡程度の花壇の土づくりやデザイン、草花の植え付け、除草、花柄つみ、水まきなどの日常の維持管理を行います。

区からの支援

- ・花の苗（年3回）、肥料（年1回）、園芸用具、腕章などを支給・貸与
- ・ボランティア保険加入



「すぎなみ公園育て組」「花咲かせ隊」への参加の申込みは随時受け付けています。

問合せ先：みどり公園課管理係 TEL 03-3312-2111 内線3588

みどりのボランティア杉並 第13期会員募集予定

みどりのボランティア杉並は、地域緑化に関するボランティア活動を始めようとする方のきっかけの場です。

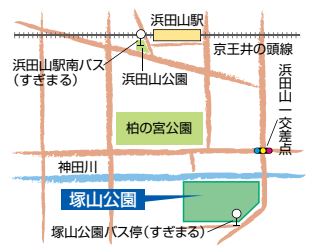
新たな会員の募集は、2月下旬から始まります。詳しくは、2月に発行される広報すぎなみをご覧ください。

みどりの相談所の先生に聞く



みどりに関する相談は 塚山公園みどりの相談所

☎03-3302-9387
杉並区下高井戸5-23-12
毎週土・日曜日 午前9時～午後4時30分
休所日・年末年始(12/29～1/3)



アボカド 種から育ててみよう



アボカドはクスノキ科、メキシコ原産の熱帯果樹です。日本人の嗜好に合っていて、近年輸入が非常に多くなっています。和名は「ワニナシ」と呼ばれ、お店にはゴツゴツした黒皮の“ハス”とよばれる品種が並んでいます。

果実は、森のバターと呼ばれ、カロリーが高く、ビタミンも豊富で、コレステロールの心配が少ないです。樹は、高さ7～20mの常緑樹で、葉も美しく、観葉植物として栽培します。

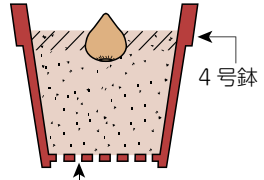
今回は、種まきとその後の管理、冬越しについての方法を紹介します。

●種まき

時期は4～6月が適しています。18℃以上を保つことができれば、1年中育てられます。

果実から種を採ります。種を水洗いし、尖った方を上にして、種を1/2～2/3を土に埋めます。4号鉢くらいの大きさの鉢に植えます。たっぷりとかん水、乾燥しないようにします。かん水直後にビニール袋に密封するのも1つの方法です。

用土は赤玉土(小粒)、市販のものなど雑菌の少ない、排水性・保水性の良い土を使用します。水栽培(種



細かい穴の場合ゴロ土は不要ですが、1つ穴の場合はごろ土を入れます。

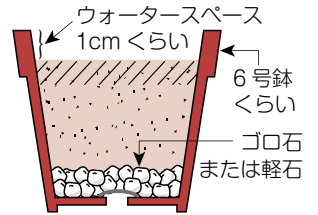
子の下1/3を水浸け)や種皮を傷つけて育てる場合には、殺菌剤(ベンレートなど)を利用すると腐敗防止になります。

種子は保存できません。1カ月程で発芽し、その後は明るいところに置き育てましょう。ビニール袋で密封したものは、発芽したら袋ははずし、よく日を当てます。

●その後の管理

かん水は表面の土が乾いてから行います。鉢底より水が抜けるのを確認しましょう。追肥は6～8月に、3回くらい行います。

発芽から半年ほどで植え替えます。用土は赤玉土に3割くらいの腐葉土を混ぜ合わせします。なるべく根鉢を崩さずに6号鉢くらいの深鉢に植えます。ウォータースペース1cmくらい、鉢穴が1つの場合は下にゴロ土、軽石などを入れます。水が溜まらないようにします。1年で60～70cmになります。1本棒に伸びて、さびしいということならば30～40cmのところで摘心し、枝を分岐させます。



●冬越し

グリーンを楽しむ観葉植物としては5～10℃の温度が必要です。大きな樹では-2℃まで耐えますが、苗木は寒さに弱く、0℃を下回らないようにします。杉並区ならば2～3年は鉢植えの方が無難でしょう。

地植えする場合は、建物の近く、霜の当たらないような温かい場所を選びます。

編集後記 「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

- 美しいイロハモミジにも色々な不思議があるのですね!!心新たに紅葉を楽しみたいと思います。(原)
- 永福小学校の緑に囲まれた環境、素晴らしかったです。田んぼ、果樹園、菜園、花壇、樹木と、ぜひ公開日の見学をお勧めします。(水)
- 30cm余りに育ったアボカドが枯れ、懲りずに数個埋めておいた種が一向に芽吹かず諦めていたある日ふと見ると20cm余りの枝が!!(啓)
- 欧米では黄葉が主流ですが、紅葉を堪能できる日本の素晴らしさを身近な大田黒公園などでも感じられます。(中)
- 最近、ガラケーからスマホに。カメラ機能が良くなったせいか、お花を見つけてはパチリパチリ。おかげで植物図鑑ができそうです。(羽)
- アボカドの記事、編集会議でも盛り上がりました。簡単そうだし、おしゃれなインテリアになるかも…ちょっとトライしてみたいですね。(松)
- 公園に行ってみよう!!イロハモミジの紅葉も美しいですが、カツラ(桂)の黄葉もすてきで、落ち葉のかおりも食欲をさそいます。(山)
- イロハモミジの花が小さくて気がつかず、かわいい花と再認識しました。(三)
- 真紅のモミジ葉 お神楽の囃し 秋祭りの頃の取材は愉快的気分になる!(石)



みどりの新聞 みどりとひと167号 平成28年11月20日発行
編集/みどりのボランティア
編集・発行/杉並区都市整備部みどり公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111
「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

